

事務事業チェックシート

事務事業No 680 事業名 車駕之古址古墳公園管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	車駕之古址古墳公園管理事業			

1 事業内容

<p>(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)</p> <p>県指定文化財(史跡)車駕之古址古墳公園を適正に維持管理する。</p>		<p>全体事業概要</p> <p>車駕之古址古墳公園 (場所)和歌山市木ノ本714番1ほか (面積)9,160㎡ [内容]県内で最大級の前方後円墳で出土品では金製勾玉が有名。公園内の草刈り・樹木管理、清掃などの維持管理事業を行う。周辺の小学校5～6年生の社会科授業として、現地説明会を開催し、郷土の歴史資料として活用する。学習効果を高めるために古墳上の景石を継続的に古墳外へ移設している。</p>				
事業目的						
事業内容		<p>平成27年度</p> <p>小学生を対象とした説明会を実施。草刈り・清掃などの維持管理事業。古墳の景石13個を移設。</p>	<p>平成28年度</p> <p>小学生や市民を対象とした説明会を実施。草刈り・清掃などの維持管理事業。古墳の景石9個を移設。</p>	<p>平成29年度</p> <p>小学生や市民を対象とした説明会を実施。草刈り・清掃などの維持管理事業。古墳の景石9個を移設予定</p>	<p>平成30年度</p> <p>小学生や市民を対象とした説明会を実施。草刈り・清掃などの維持管理事業。古墳の景石12個を移設予定</p>	<p>平成31年度</p>

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,324	3,887	3,485	3,407	3,350	3,283	3,340	3,340		
伸び率(%)	-	-	▲19.4%	▲12.3%	▲3.9%	▲3.6%	▲0.3%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	1,602	1,722	1,722	2,072	2,453	2,763	1,566		
	正規職員以外									
	小計	1,602	1,722	1,722	2,072	2,453	2,763	1,566		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	4,324	3,887	3,485	3,407	3,350	3,283	3,340			
所要人数(人)	正規職員	0.22	0.23	0.23	0.26	0.31	0.34	0.2		
	正規職員以外									
主な予算内訳	植栽等委託料 1,900千円				移設委託料 869千円					

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 説明会実施回数	回	目標値	2	2	2	2	
		実績値	1	2	1		
		達成度(%)	50.0%	100.0%	50.0%		
成果指標 説明会参加者数	人	目標値	150	150	150		
		実績値	70	171	159		
		達成度(%)	47.7%	114.0%	106.0%		
活動指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	説明会への参加者は、小学校児童が多く、次世代の文化遺産の愛護意識の醸成に役立っている。また、周辺での避難適地となっているため、防災関連の催し物でも、古墳の歴史を紹介する機会が定例化しつつあり、地域の活動にも役立っている。
見直し・改善内容	パンフレットの配布やホームページでの紹介を促進し、より多くの人々に存在・歴史的価値を知ってもらうように努める。